

2014年5月9日

2013年度(平成26年3月期) 決算説明会

 株式会社 日立物流HITACHI
Inspire the Next

本日の説明内容



1

.2013年度決算について

【決算概要】財務諸表、売上高・利益増減内訳 グループ別、
海外事業、設備投資、受注立上状況

【2013年度トピックス(国内・海外)】

【当社のグローバルネットワーク】

.2014年度計画について

【売上高・利益計画】

【構造改革の推進】

.中期経営計画(2015年ビジョン)について

【事業計画】

【国内・海外事業戦略(地域別)、フォーディング事業】

【Hitachi Smart Transformation Project】

【スマートロジスティクス】



(単位:億円、端数四捨五入、()内は利益率(%))

	2012年度 実績	2013年度 実績	前期比 増減	2014年度 計画	2014年度 計画比 増減
売上高	5,475	6,245	14%	6,550	5%
営業利益	(3.6) 195	(3.4) 210	7%	(3.8) 250	19%
経常利益	(3.6) 196	(3.2) 200	2%	(3.7) 244	22%
税引前利益	(3.7) 205	(2.5) 155	-24%	(3.7) 241	56%
当期純利益	(2.0) 112	(0.9) 54	-51%	(2.0) 133	145%
1株当たり 配当	25円	26円	1円	28円	2円

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

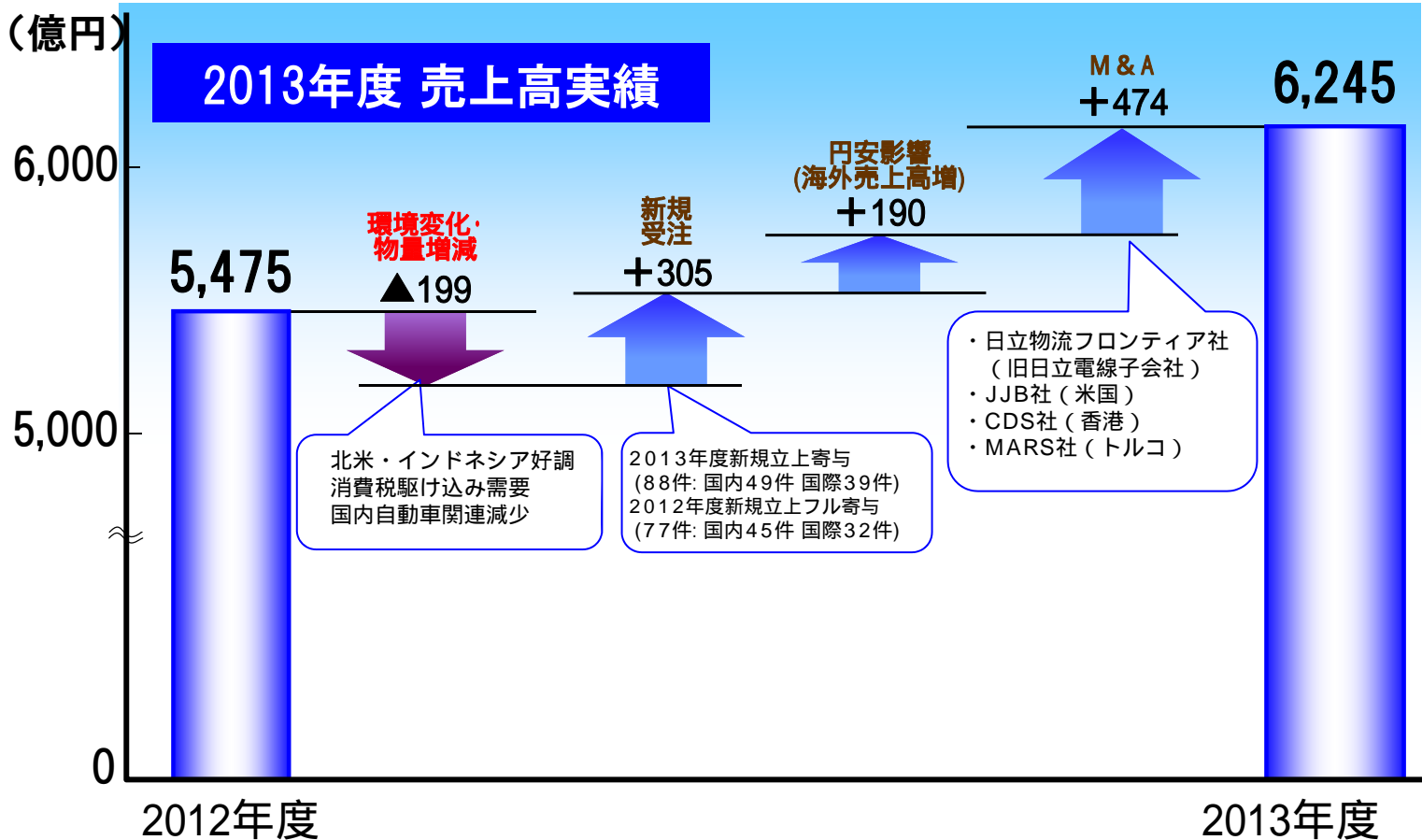
2013年度 決算の概要(財務指標等)



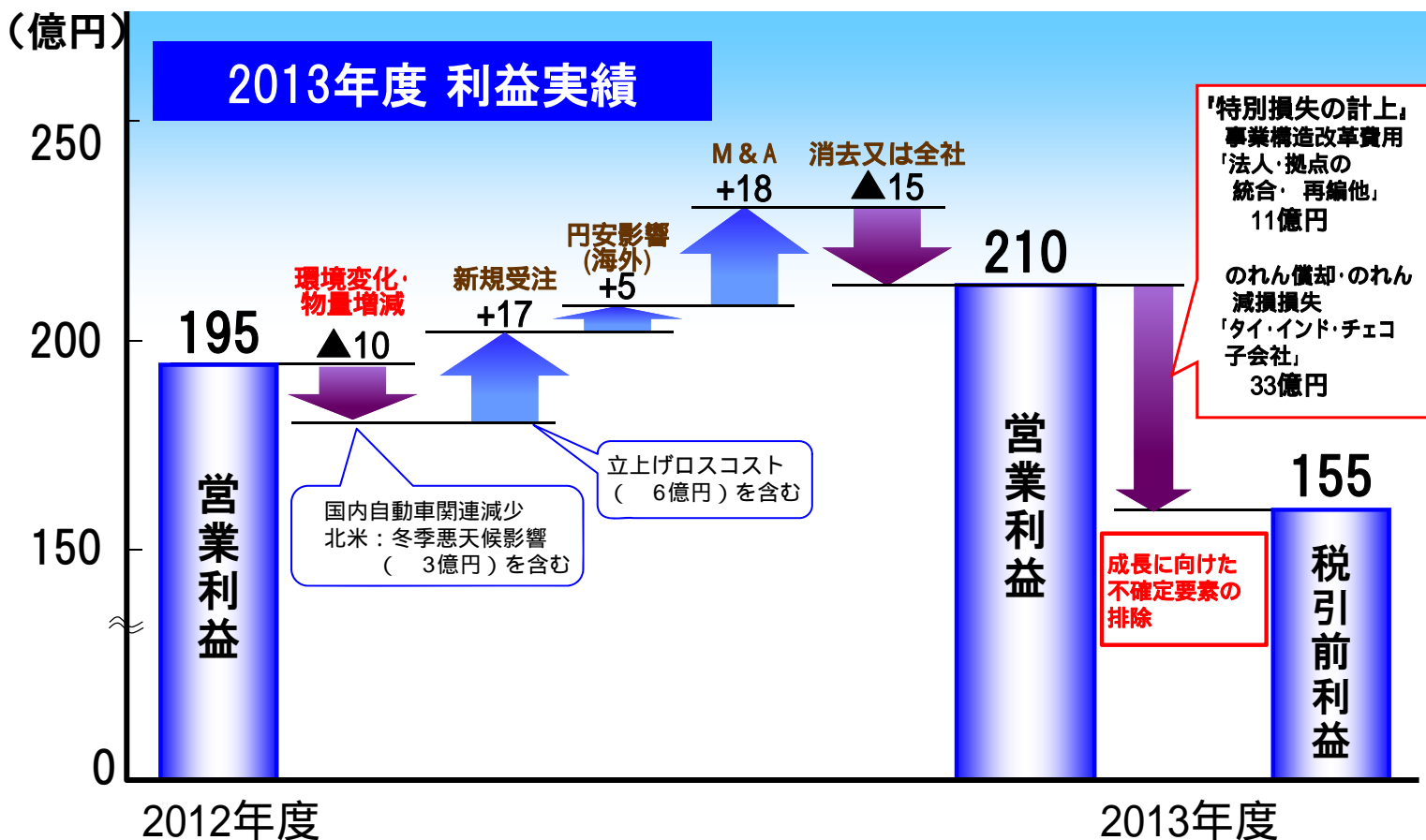
	2012年度	2013年度
総資産 (億円)	3,742	4,277
自己資本 (○は自己資本比率(%)) (億円)	(45.2) 1,693	(39.4) 1,687
1株当たり純資産 (円)	1,517.93	1,512.16
1株当たり当期純利益 (円)	100.01	48.70
1株当たり配当(年間) (円)	25	26
自己資本利益率(ROE) (%)	6.8	3.2
総資産利益率(ROA) (%)	3.0	1.4
株価純資産倍率(PBR) (倍)	0.99	1.11
株 価 (円)	(2013.3.31) 1,500	(2014.3.31) 1,676

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

2013年度 決算の概要(売上高増減内訳)



2013年度 決算の概要(利益増減内訳)



2013年度 決算の概要 (グループ別)

(単位:億円、端数四捨五入、< >内は構成比(%)、()内は前年差)

		売上高			営業利益		
		通期実績 (累計)	前年 増減	前年 増減	通期実績 (累計)	前年 増減	
オーガニック 1	国内物流	<64>	3,093	+6%	276.0	+7%	
	国際 物流	海外	<28>	1,341	+77%	28.9	+385%
		その他	<4>	205	-17%	-4.6	(-7.1)
		計	<32>	1,547	+54%	24.3	+188%
	その他	<4>	211	+7%	27.4	+5%	
	(消去又は全社)	-	-	-	-131.8	(-15.3)	
計		<100>	4,851	+18%	195.9	+12%	
バンテック グループ	国内物流	<53>	800	-4%	20.5	-28%	
	国際 物流	海外	<21>	320	+25%	8.6	-22%
		フォーディング(日本) 2	<26>	403	+14%	10.1	+96%
		計	<47>	723	+19%	18.7	+15%
	計	<100>	1,523	+5%	39.2	-13%	
連結調整		-	-129	(-34)	-	-	
のれん償却等		-	-	-	-25.2	(0)	
合計		<100>	6,245	+14%	209.9	+7%	

※1 :バンテックグループを除く日立物流グループ

※2 :2012年7月にオーガニックの主なフォーディング事業(日本)をバンテックグループに移管

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

2013年度 決算の概要 (海外事業)

(単位:億円、端数四捨五入)

		売上高		営業利益 (現地費用除く)	
		実績 (累計)	前年 増減	実績 (累計)	前年 増減
海外	北米	309	+84	6.0	+1.8
	欧州	451	+192	19.9	+15.1
	中国	533	+305	6.8	-1.0
	アジア(中国除く)	350	+61	4.1	+3.7
	その他	19	+7	0.4	+0.7
	連結消去等	-49	-14	0.3	+0.3
	計	1,612	+635	37.6	+20.5
	オーガニック	1,341	+584	28.9	+23.0
	バンテックグループ	320	+65	8.6	-2.4
	連結消去	-49	-14	-	-

※上記は、国際物流の現地法人の売上高・営業利益

※上記の営業利益には、バンテックの無形固定資産償却は控除していない

※CDS社は、中国以外の地域についても中国に含む

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.



設備投資

(単位:億円)

	2012年度	2013年度
自家投資	152	216
(参考)賃借	160	311
減価償却費	150	166

物流センター面積

(単位:万㎡)

	2012年度	2013年度
国内	426	461
海外	138	176
合計	564	637

期末人員

(単位:人)

	2012年度	2013年度
グループ総人員	46,524	48,843
連結人員	22,793	24,425

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.



主な受注・立上状況推移

		2012年度		2013年度	
立上	前期受注 当期立上	77件	22件	88件	24件
	当期受注 当期立上		55件		64件
受注	当期受注 次期立上 (受注残)	81件	26件	91件	27件

※上記の件数は、1,000万円/月以上の大口案件を表示

2014年度立上:33件
(過去受注分を含む)

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.



中京物流センター(Ⅱ期)



- 愛知県春日井市
- 2014年1月稼働
- 小売、生活用品、電気製品等

川越物流センター



- 埼玉県川越市
- 2014年3月稼働
- 食料品、生活用品等

つくば物流センター



- 茨城県つくば市
- 2014年4月稼働
- 建設機械用部品等

テクニカルセンタ



- 千葉県松戸市
(当社研修センタ内)
- 2013年9月開設
- 試験施設

新富士物流センター



- 静岡県富士市
- 2013年10月稼働
- 食料品、生活用品等

厚木物流センター



- 神奈川県愛甲郡
- 2014年1月稼働
- 自動車部品等

相模原物流センター




- 神奈川県相模原市
- 2014年1月稼働
- 精密機器、化粧品等



ロシア(新会社)

- VANTEC HTS Logistics (RUS), LLC
- サンクトペテルブルク市
- 2013年6月営業開始
- 倉庫保管、輸送事業等

中国(物流拠点)



- 天津物流センター
- 天津市
- 2013年10月稼働
- 日用品関連

香港(M&A)

- CDS FREIGHT HOLDING LTD.
- 香港
- 2013年7月譲受け
- フォワーディング事業

トルコ(M&A)

- Mars Logistics Group Inc.
- イスタンブール
- 2013年10月譲受け
- インターモーダル事業、フォワーディング事業

香港・台湾(再編)

- 日立物流萬特可(香港)有限公司
- 台湾日立物流股份有限公司
- 2013年11月実施
- バンテックグループとのシナジー創出


米国(M&A)

- James J. Boyle & Co.
- サンフランシスコ
- 2013年5月譲受け
- フォワーディング事業

ミャンマー(新会社)

- NISSHIN(MYANMAR)CO.,LTD.
- ヤンゴン
- 2013年4月検品作業開始
- 国際物流、倉庫内作業等

マレーシア(物流拠点)



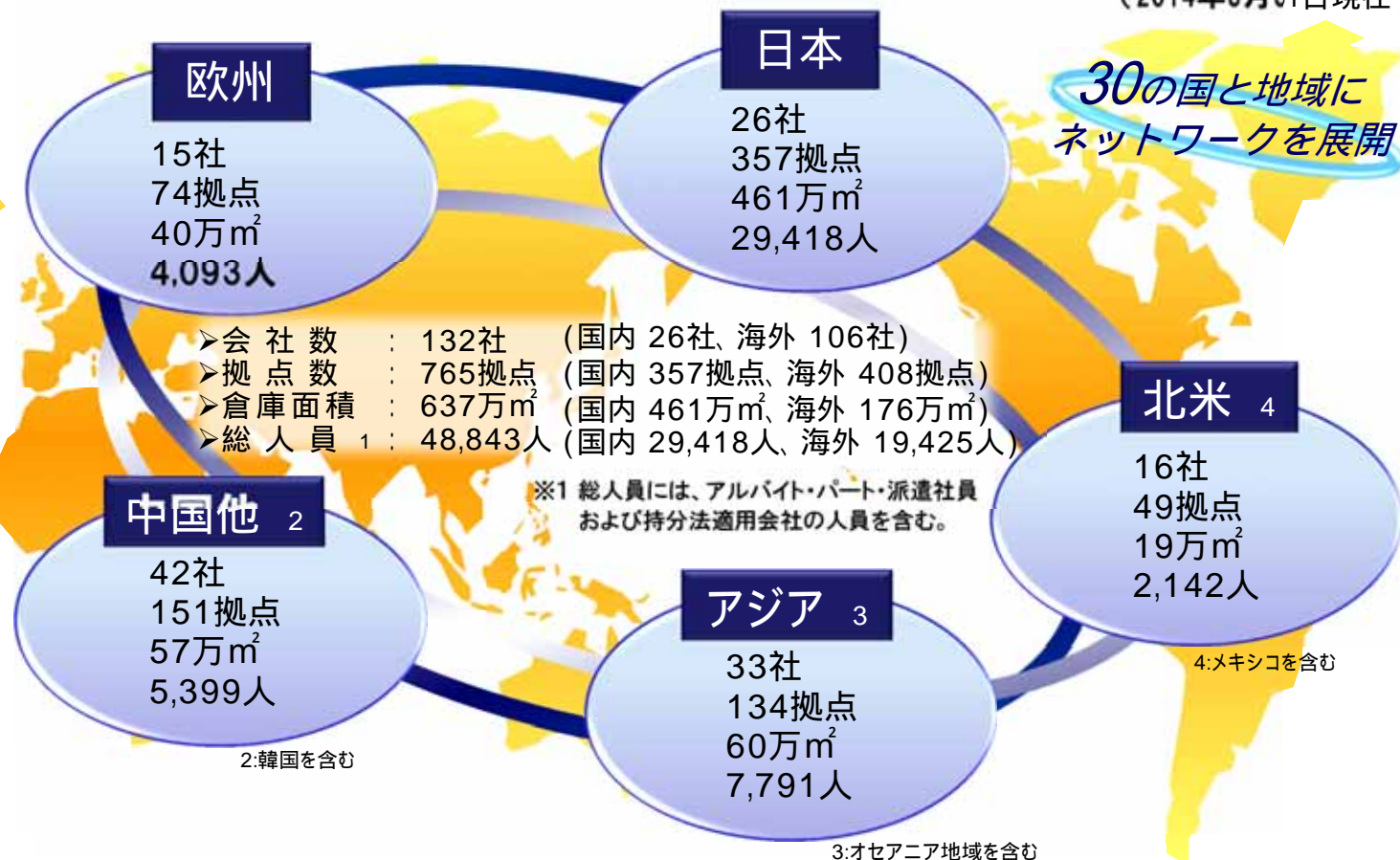
- クアラルンプール・ロジスティクス・センター
- セランゴール州バンギ
- 2013年10月稼働
- 小売、家電・食品関連等

インドネシア(新会社)

- PT. Hitachi Transport System Indonesia
- ジャカルタ
- 2013年10月営業開始
- 3PL事業

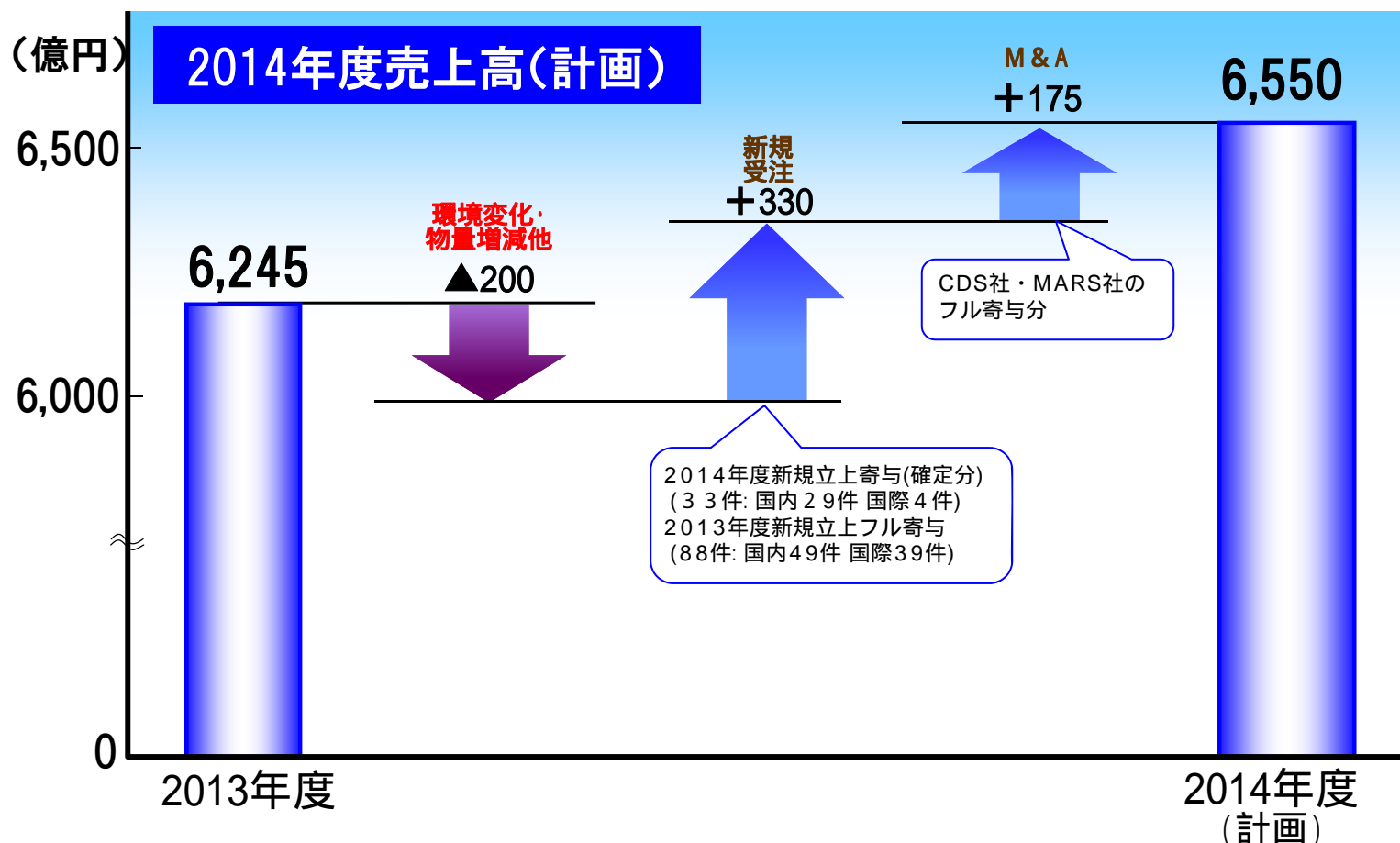
(2014年3月31日現在)

30の国と地域に
ネットワークを展開

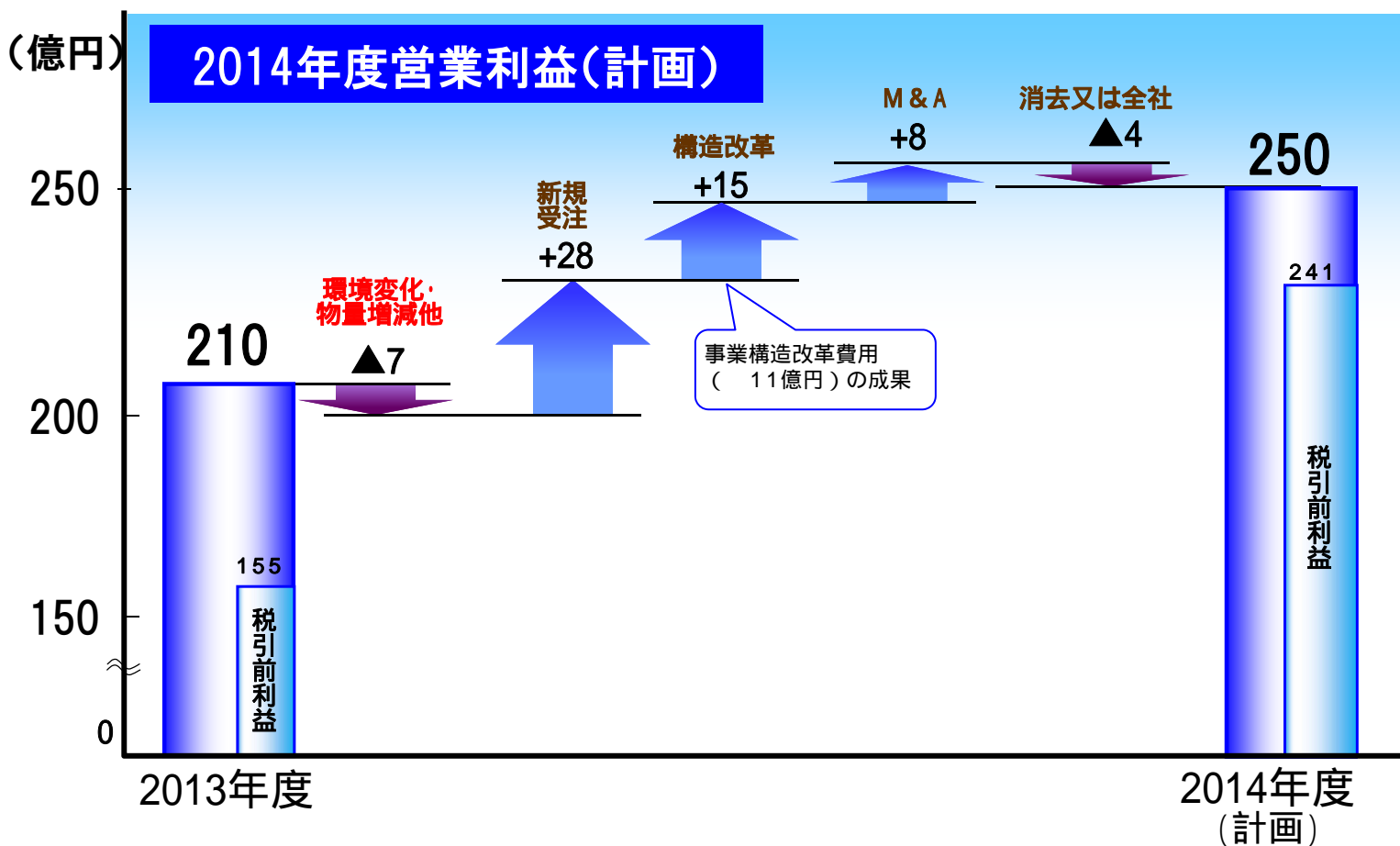


© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

2014年度計画について (売上高)



© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

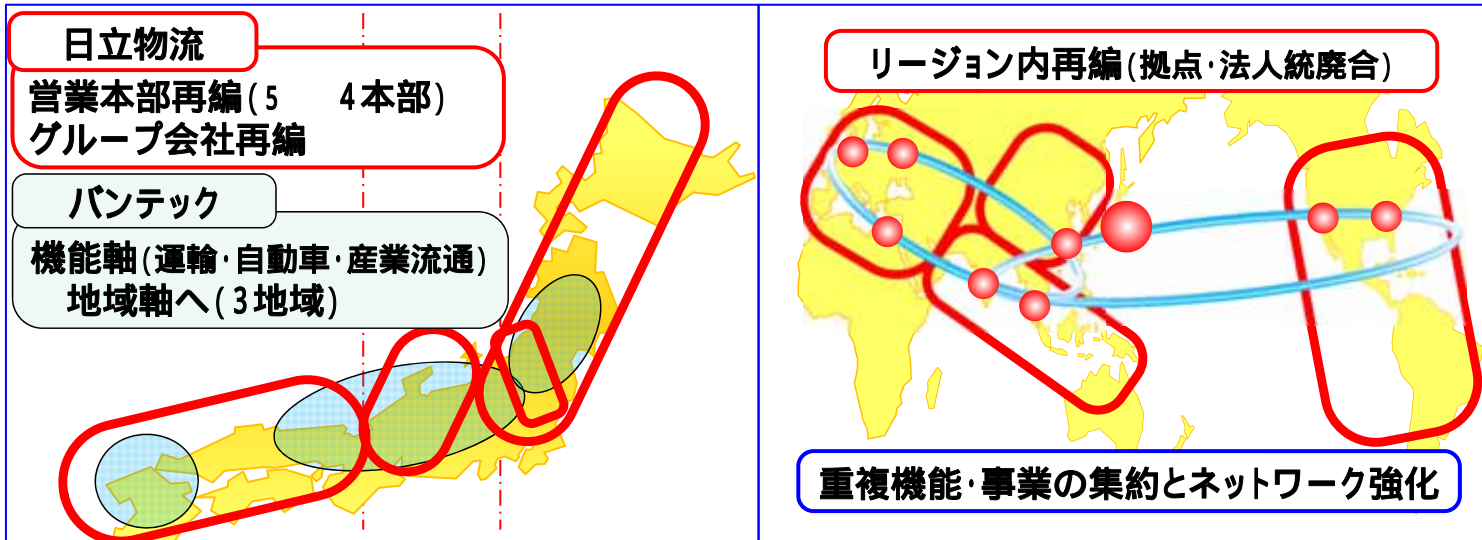


© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

構造改革の推進

【地域で勝ち抜き、世界で戦い・勝てる物流企業】に向けたダイナミックな構造改革の推進

リージョナル&グローバルオペレーション体制の最適化



2013年度実施分の確実な刈取り: 15億円/年

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

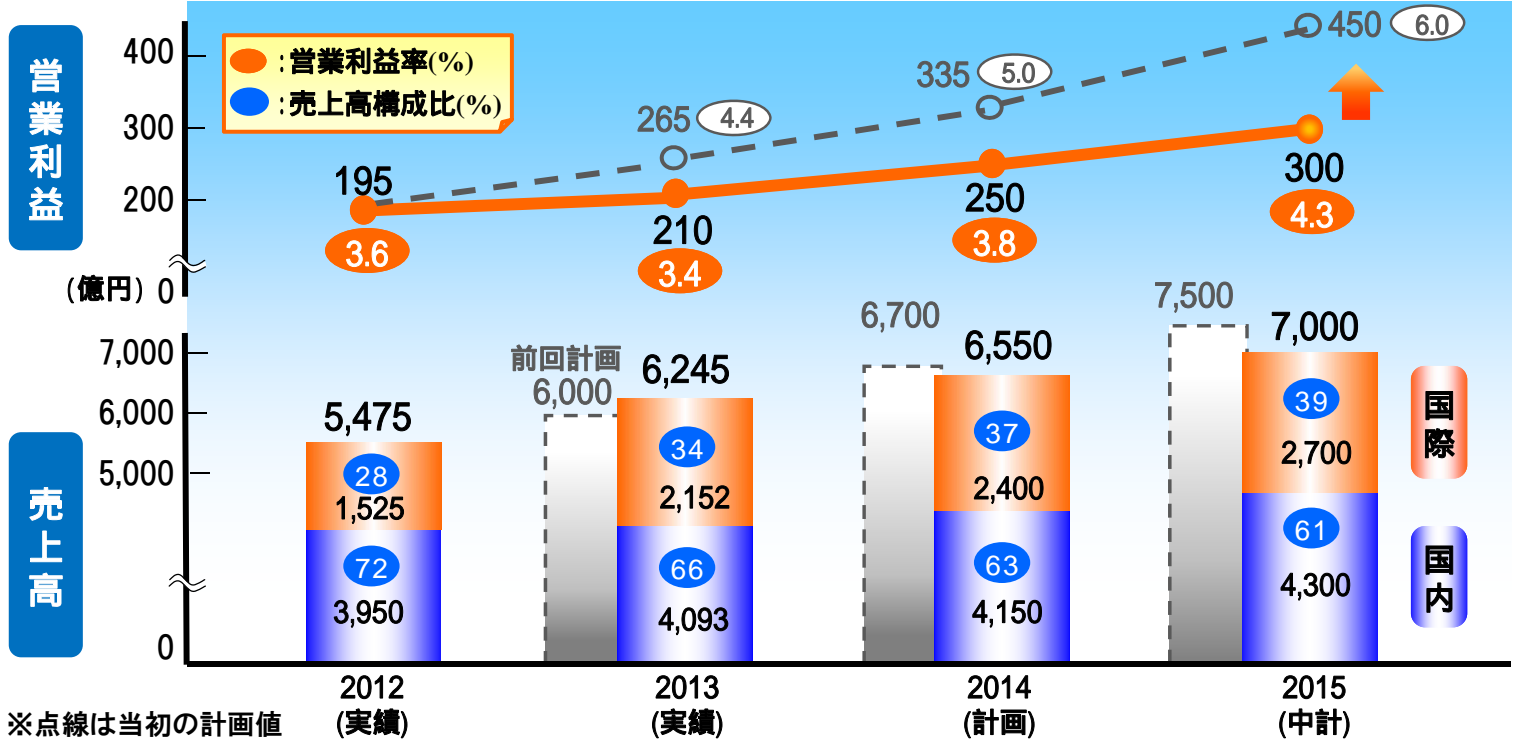
ビジョン

世界で戦い・勝てる物流企業

経営方針

協創による成長と構造改革

事業計画



© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

国内事業の拡大 (基本戦略)

顧客満足を高めるサービス・ビジネスモデルの創出と持続的成長

総人員: 29,418人

拠点数: 357

車両: 約3,000台 ※

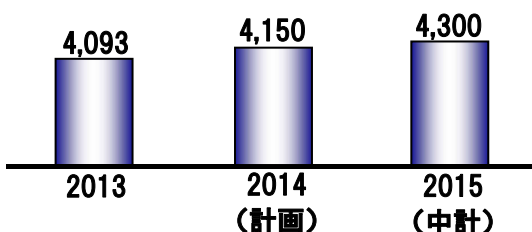
物流センター面積: 461万㎡

(2014年3月末日現在)

※トラック・トラクタ・トレーラの合計概算値

売上高

(単位: 億円)



重点施策

- 多様化する顧客ニーズへの対応
 - ・業界や企業Gr.へのプラットフォームの提供
 - ・新技術の導入やハイスペックロジスティクスを駆使した事業運営と「Value」の提供
 - ・地域特性に応じた地域密着 & 完結型事業の展開

プラットフォーム事業拡大に向けた物流拠点強化

北関東に 食品専用物流センター を開設



◆完成イメージ

ドライ・チルド機能を備えた食品専用倉庫

- 稼働: 2015年初頭
- 延床面積: 約15,000㎡超

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

市場の成長とグローバルアカウントの域内展開加速への対応

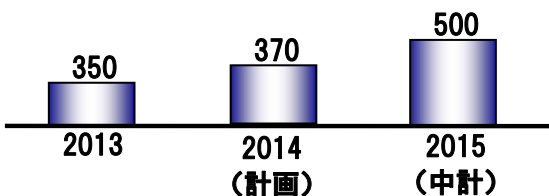
総人員: 7,743人
 拠点数: 127
 車両: 約1,000台 ※
 物流センター面積: 59万㎡

オセアニア地域除く



売上高

(単位: 億円)



重点施策

- インド : スマートロジスティクスの拡販と自動車関連物流との連携強化
- ミャンマー: ティラワ工業団地への進出
- ベトナム : 重量機エビジネス拡販と事業開拓
- タイ・マレーシア : クロスボーダー3PLとコールドチェーンの拡大 : グローバルアカウントへの受注拡大
- インドネシア : 日系企業、現地財閥の受注拡大

日系グローバルアカウントへの対応

インドネシアに3PL物流センターを建設



◆スラバヤ物流センター(仮称)

日用品関連のお客様に国内同様のサービスを提供

- 場所: スラバヤ市
- 稼働: 2014年中

日本型3PLの展開とフォワーディング事業の強化

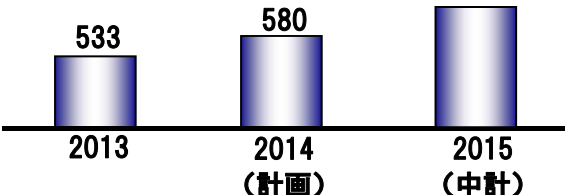
総人員: 5,385人
 拠点数: 149
 車両: 約100台 ※
 物流センター面積: 57万㎡

韓国除く



売上高

(単位: 億円)



重点施策

- グローバルアカウントからの受注拡大(小売・メーカー・自動車部品)
- 日立グループの受注拡大(スマトラPJとの連携)
- 内陸部への事業展開

新規案件の確実な拠点開設

上海に部品物流センターを建設



◆完成イメージ

日系大手製造業様専用の部品物流センター

- 場所: 外高橋地区
- 稼働: 2015年5月(予定)

M&Aパートナーの成長とグループ各社の融合による事業拡大

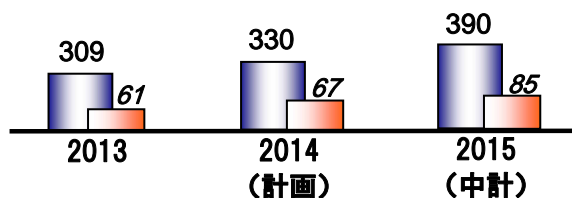
総人員: 2,142人
拠点数: 49
車両: 約3,000台*
物流センター面積: 19万㎡

メキシコ含む

(2014年3月末日現在)
 ※トラック・トラクタ・トレーラの合計概算値

売上高

(単位: 億円) ■ 北米全体
 ■ メキシコ事業(内数)



重点施策

NAFTAパイプラインおよびメキシコ事業の拡大



メキシコ事業の拡大(自動車部品物流)



© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

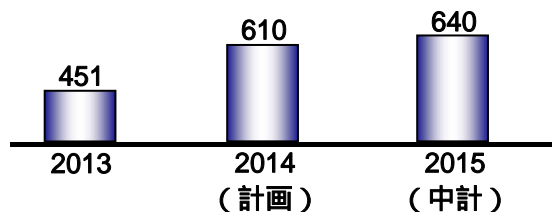
M&Aパートナーとの連携強化によるネットワーク・オペレーション体制の拡充

総人員: 4,093人
拠点数: 74
車両: 約2,000台*
物流センター面積: 40万㎡

(2014年3月末日現在)
 ※トラック・トラクタ・トレーラの合計概算値

売上高

(単位: 億円)



重点施策

- グループ連携による事業推進と受注拡大
- インターモーダル拡大とルクセンブルクXD機能拡充による欧州ネットワーク物流の拡販
- 東欧: 域内3PL事業拡大と重量機工事業の推進
- トルコ: 国内事業の拡大(3PL、域内輸送等)

インターモーダル事業拡充とグループネットワーク強化



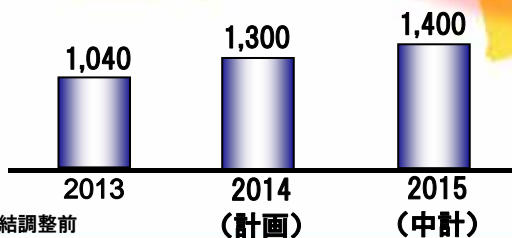
© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

One Hitachi Transport Systemとしての オフショア事業の強化・拡大



売上高

(単位：億円)



※連結調整前

取扱物量推移と重点路線

■取扱物量推移

	2013	2014	2015
航空	17万トン	21万トン	25万トン
海上	24万TEU	30万TEU	35万TEU

■重点路線

- Intra Asia
- アジア発米州 (北中南米)向け

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

Hitachi Smart Transformation Project

旧日立電線物流子会社の譲受

- 2013年3月：株式譲受
- 2014年7月：既存子会社(東日本日立物流サービス)と合併予定

合併

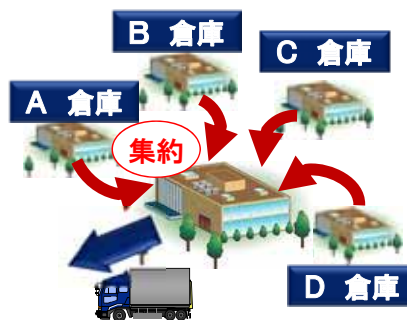
東日本日立物流サービス株式会社
日立物流フロンティア株式会社



関西物流センター

国内倉庫の集約

- 日立グループ各社の外部倉庫集約(13/4Q～)
- ※日立製作所(ロジスティクス統括センタ)と連携



- ・日立物流既存拠点へ集約
- ・既存日立グループとの共同配送・保管

つくば物流センター開設

- 日立建機 建設機械保守部品
- グローバル供給体制再構築への対応 (保守部品マザーセンター)

- 2014年5月本格稼働
- 延床面積：約52,700㎡
- フロアーあたり26,400㎡

当社最大級



© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.



スマートウェアハウス

倉庫運営の効率化（搬送ロボ等を活用したモデルシステム構築）

スマート物流コックピット

管理画面例

輸配送管理 庫内作業管理 生産性管理

スマートロジスティクスコンフィギュレータ

3次元設計例

タイムチャート 物流フロー レイアウト

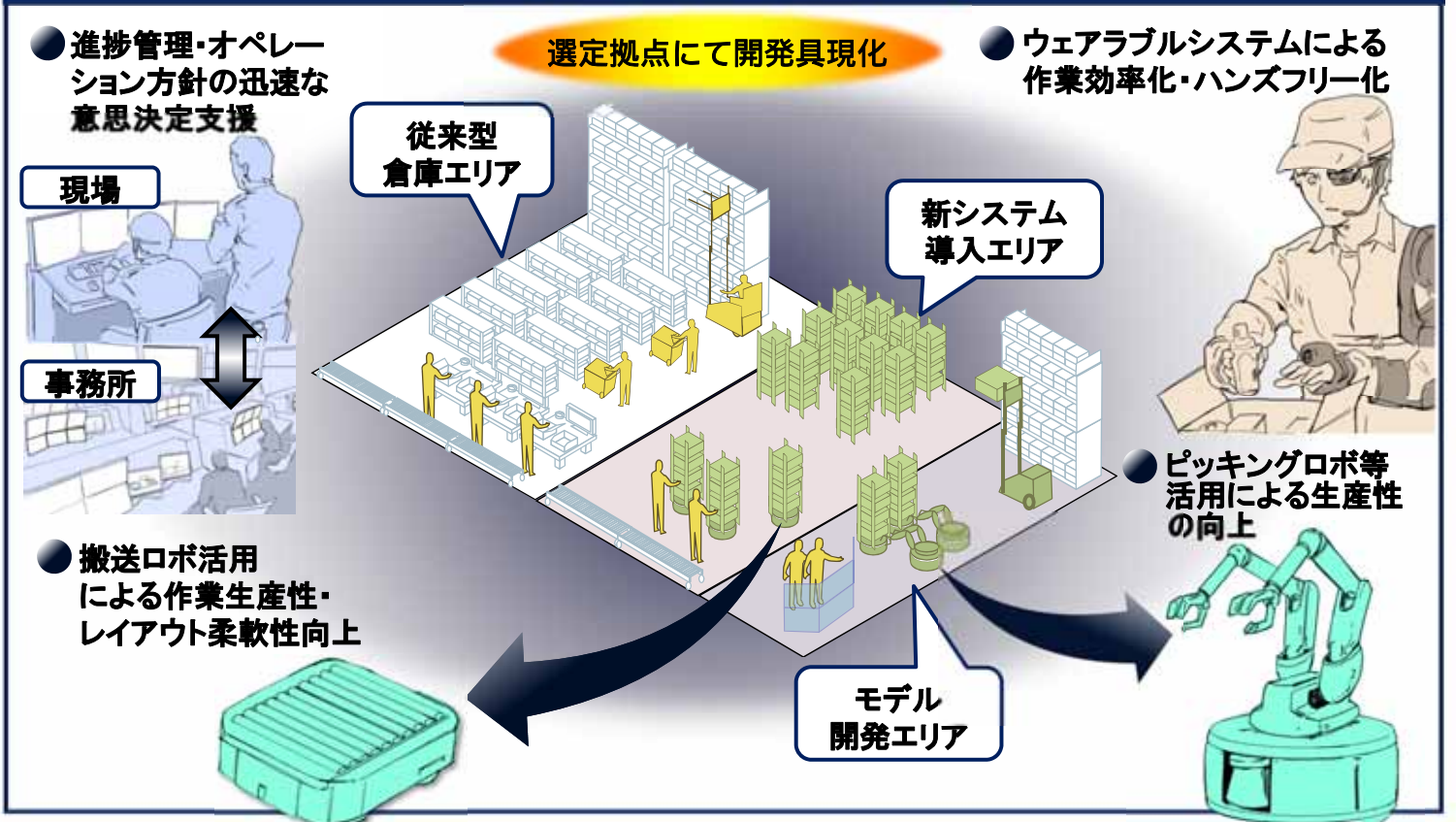
■開発・具現化計画【日立製作所と連携】《研究開発費 3億円》

	13年度	14年度	15年度
スマートウェアハウス開発	化粧品PFセンター/スポーツDC（首都圏）	化粧品PFセンター/スポーツDC（首都圏）	国内外事業所へ展開
スマート物流コックピット開発	化粧品PFセンター/スポーツDC（首都圏）	化粧品PFセンター/スポーツDC（首都圏）	国内外事業所へ展開
モデルシステム構築(実用化/事業化)	既存・新規物流センター、国内外主要事業所へ展開		
スマートロジスティクスコンフィギュレータ開発	新規物流センター、国内外事業所へ展開		

© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.



スマートウェアハウス：モデルシステムイメージ【14年度から開発本格化】



© Hitachi Transport System, Ltd. 2014. All Rights Reserved.

協創で世界に挑む

**We Challenge the Global Competition
by Collaborative Innovation**

